

【令和8年度用 様式2-表】

令和8年度国際交流・都市と山間の教育交流事業 計画書

学校番号	57	豊田市立 道慈小 学校	代表	成瀬久美子
------	----	-------------	----	-------

○で選択

テーマ	小原・道慈のすばらしさを知らせ、それぞれの地域の特徴を学ぼう	国際	
サブテーマ	～衣丘小学校との交流活動を通して～	都市と山間	○
ねらい	①伝統工芸である小原和紙の作り方と小原の郷土料理の一つ五平餅の作り方を調べ、衣丘小学校の4年生に教えることを通して、小原和紙や五平餅について再認識するとともに小原の文化への誇りをもつ。 ②交流活動に向けて計画を立てることでお客様を迎える準備や接待の仕方を身に付け、進んで行動できるようにする。 ③衣丘小学校の「みかん祭り」に参加し、みかんを収穫することで育てる苦勞を感じる。 ④衣丘小学校の授業に参加することで「多人数の授業」を体験するとともに、自分の考えを堂々と発表する力を育てる。		
活動計画	4月 交流に向けての企画・準備を開始する。 5月 衣丘小学校の4年生の訪問に向けて、日程や交流内容などを職員会議などで検討し、児童への指導を始め、準備を進める。衣丘小学校の4年生の訪問を受け、4年生が小原和紙を6年生が五平餅の作り方を教える。その他の学年が道慈小の名所をウォークラリー形式で案内する。また、高学年を中心としてはじめの会や終わりの会・伝統文化の説明会を企画・運営したり、お弁当を一緒に食べたり、グループで遊んだりする活動を通して交流する。 10月 衣丘小学校への訪問に向けて、グループ編成、自己紹介など準備を進める。 11月 1～4年生が衣丘小学校を訪問し、みかん狩りや多人数の授業を体験する。 12月 衣丘小学校へお礼の手紙を書く。		
期待される効果	・都市部の学校の様子と比較することで、都市部の特徴を知るとともに自校の学校の特色や特性、よさなどをより明確に感じることができる。 ・和紙の制作や五平餅の作り方、道慈小の自慢を衣丘小学校との交流の4年生に説明することを通して、発表する力を身につけることができる。 ・衣丘小学校の多人数の授業を体験することで、たくさんの人の前で発表する力を身につけることができる。		